

夏播き冬どりタマネギの収量に及ぼす苗質と生育の影響

○石橋哲也・浦田貴子・大坪竜太・檜崎耕輔<sup>1)</sup>

(佐賀上場営農セ・<sup>1)</sup> 現吉田農園)

【目的】

冬どりタマネギは国産タマネギの端境期である11月から1月にかけて出荷できるというメリットがある。そこで、これまで夏播き冬どり栽培技術の開発に取り組んできた<sup>1,2)</sup>。今回は定植苗の形質と生育状況が収量に及ぼす影響を明らかにする。

【材料および方法】

試験は唐津市鎮西町の上場営農センター場内で実施した。品種‘シャルム’（タキイ種苗）を2012年7月6日および2013年7月5日に448穴セル成型トレイ（培土:与作 N-150）へ播種し、約11時間の短日処理を行った。この間に、材質の異なる数種の被覆資材区を設けるとともに、吸水マットの敷設数（1～3枚）および剪葉処理程度を変えた区を組み合わせ、形質の異なる苗を育成した。

2012年は8月24日、2013年は8月23日に定植した。施肥等は当センターの栽培マニュアルに準拠し、試験規模は1区4.35㎡（1.45m×3.0m、120株）の3反復とした。

定植時に草丈、葉数、地上部重、根重を調べるとともに、根鉢の固結調査として50cmの高さか

ら落下させた時の全重量等を測定した。その後、9月下旬と10月上旬に草丈、葉数を調査し、収量調査は12月4日に実施した。

【結果および考察】

1. 苗質と収量

定植時の苗質のうち、収量との高い相関が認められたのは葉鞘基部径であった（表1）。さらに、葉鞘基部径と地上部重および苗重との間にも高い相関が認められた（表1）。

2. 生育と収量

9月の草丈、10月の草丈・葉数と収量には高い相関が認められた。また、9月の草丈と10月の草丈・葉数にも高い相関が認められた（表1）。

以上のことから、多収生産の指標として、苗質では葉鞘基部径約3.0mm、地上部重2.0gFW/株、苗重2.4gFW/株である。さらに、9月下旬の草丈を約50cm、10月上旬の草丈が約60cmで生葉数約7枚であることが明らかになった。

引用文献

- 1)中山ら(2012),園芸学研究 第11巻 別冊1,140.
- 2)石橋ら(2012),園芸学研究 第11巻 別冊1,389.

表1 苗質と生育および収量との決定係数( $r^2$ )

	草丈	葉数	葉鞘基部径	葉幅	全重(土付)	落下後全重	地上部重(gFW)	根重(gFW)	苗重(gFW)	培土固結割合	9月草丈	9月葉数	10月草丈	10月葉数
草丈(cm)	—													
葉数(枚)	0.10	—												
葉鞘基部径(mm)	0.15	0.28	—											
葉幅(mm)	0.02	0.05	0.20	—										
全重(土付)(g/株)	0.15	0.05	0.44	0.59	—									
落下後重(g/株)	0.18	0.03	0.43	0.62	0.89	—								
地上部重(gFW/株)	0.37	0.19	0.65	0.19	0.56	0.48	—							
根重(gFW/株)	0.03	0.01	0.11	0.16	0.24	0.14	0.10	—						
苗重(gFW/株)	0.26	0.13	0.65	0.24	0.62	0.51	0.95	0.26	—					
培土固結割合(%)	0.04	0.01	0.03	0.27	0.15	0.41	0.00	0.01	0.00	—				
9月草丈(cm)	0.21	0.09	0.61	0.36	0.51	0.59	0.43	0.04	0.41	0.20	—			
9月葉数(枚)	0.00	0.07	0.01	0.15	0.17	0.11	0.05	0.13	0.08	0.00	0.04	—		
10月草丈(cm)	0.22	0.16	0.56	0.34	0.36	0.49	0.35	0.00	0.29	0.24	0.93	0.01	—	
10月葉数(枚)	0.15	0.14	0.44	0.28	0.24	0.41	0.26	0.02	0.19	0.35	0.67	0.00	0.83	—
収量(kg/10a)	0.23	0.20	0.63	0.30	0.34	0.44	0.40	0.00	0.33	0.17	0.89	0.01	0.95	0.79

注1) 葉幅は、最大葉幅。苗重は地上部重と根重の和。  
 注2) 落下後重は、苗を高さ50cmから平面なコンクリートへ落下させた時の重量。苗の測定時の土壌水分は11～14%  
 注3) 培土固結割合とは、落下前の培土重量に対する落下後の割合。  
 注4) 苗質と生育は1区20株を調査し、収量調査とともに3反復平均値を用いた。分析に用いたデータ数は26。  
 注5) 決定係数の網掛けは0.5以上の値